

秋の叙勲および褒章 受章おめでとうございます

秋の叙勲および褒章の受章者が発表され、本市から4人が受章されました。おめでとうございます。

【叙勲】

- 瑞宝双光章
 - ・元 南島原市消防団副団長
七條 萬八郎さん（口之津町）
- 瑞宝単光章
 - ・永川建設 永川班職長
永川 政秀さん（有家町）

【褒章】

- 黄綬褒章
 - ・農業
松川 正さん（西有家町）
- 藍綬褒章
 - ・民生委員・児童委員
小川 絹子さん（深江町）



五穀豊穡を祈願し 「浮立」を披露

10月7日、8日に開催された春日神社大祭で、北有馬町田平名の小学生が五穀豊穡を祈願した伝統芸能「浮立」を披露しました。

「浮立」は、島原・天草一揆後に佐賀からの移住者が伝えたとされる伝統芸能で、小学生の氏子(浮立子)が独特の衣装を着て、笛や謡に合わせて大太鼓を叩くものです。子どもたちは、緊張しながらも力強く堂々と披露していました。



ソラシドエアと包括的連携協定を締結

市では、昨年9月から今年11月にかけて、株式会社ソラシドエア(高橋宏輔 社長)の地域振興プロジェクト「空恋プロジェクト」を活用し、航空機の機体をラッピングした「おいしい南島原号」を運航し、これまで機内誌の設置や機内アナウンスなどにより、南島原市をPRしてきました。

また、プロジェクトの開始以降、ソラシドエアと相互連携を図りながら各種イベント等を展開してまいりました。

11月8日、これまでの観光分野における連携の枠を超え、農林水産業や災害支援などさまざまな分野において、産業の活性化・地域社会の発展を図っていくことを目的に、包括的な連携協定を締結しました。



内田さんが全日本マスターズで 日本記録を樹立

9月に行われた全日本マスターズ陸上競技選手権大会で、内田智恵子さん(深江町)が、やり投げ1位、砲丸投げ1位、円盤投げ1位の3冠を達成しました。やり投げでは29.25メートルを投げ、見事、日本記録を更新しました。11月6日、このことを市長に報告するため市役所を訪れました。

内田さんは「日本記録を出したときは、本当にうれしかった。練習を手伝ってくれた夫と応援してくださった皆さんに感謝したい。今後は、後輩を育てる活動にも取り組みたい」と話しました。

なお、5月から10月までに7大会に出場し、12の大会新記録を樹立しています。内田さん、おめでとうございます。

いつまでもお元気で ～100歳おめでとうございます～



相川 ヨシ子さん(西有家町)
大正7年10月24日生まれ



坂本 直人さん(北有馬町)
大正7年10月24日生まれ



松永 タカさん(西有家町)
大正7年11月13日生まれ



土橋 アキヨシさん(有家町)
大正7年11月19日生まれ



修学旅行生受入5万人を突破 ～農林漁業体験民泊～

10月11日、新潟県立新潟江南高等学校の生徒307人が本市の民泊を利用され、この日、修学旅行利用者が累計5万人を突破しました。

セレモニーでは、くす玉割りや記念プレート贈呈などを行い、南島原ひまわり観光協会の内山会長は「5万人突破は大変喜ばしいこと。歴史的にも価値があり、風光明媚な南島原市を存分に堪能し、一生の思い出にしていきたい」と述べました。

修学旅行の受け入れ開始から8年目となりますが、大きな事故もなく継続できているのは、受入家庭の温かいおもてなしと、地域の皆様のご協力の賜物です。



産官金で地域をサポート ～地域商社を設立～

10月31日、“南島原市の皆さんをサポートする”ことを目的とした株式会社 ミナサポ が、産官金5者の共同出資により設立しました。

同社は、地域の声に耳を傾け、住民ニーズに合ったきめ細やかなサービスの展開と、地域の魅力を情報発信していくことで市の認知度を向上させ、「住み続けたいまち・住んでみたいまち」を実現することを目的としています。

今後の展開は、公共施設などへの電力小売り事業により会社の基盤を整えつつ、ITサービスの開発・運営などの収益事業を展開し、その収益を地域に還元することとしています。

代表取締役役に就任した南島原市の山口周一副市長は「賛同していただいた企業のノウハウを生かしてもらい、目的の実現に向け、一丸となって取り組む」と述べました。

Focus in 南島原 まちの話題



宝くじの助成金で 反射ベストなどを配備

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とするコミュニティ助成事業の助成を受け、有家小学校校区少年消防クラブへ新たに反射ベストやアポロ帽などを配備しました。

同クラブは、火災予防運動期間中に「火の用心」啓発活動をはじめ各種活動を展開しており、クラブ員の安全確保、意識高揚などを目的として事業を実施しました。

島島原地域広域市町村圏組合消防本部警防課
☎0957-62-3080



車えびの出荷はじまる

11月5日、深江町漁協の吉田組合長と関係者が、車えびの出荷開始を市長に報告するため、市役所を訪れました。

有明海で育てられた車えびは、キュッとしまった身と甘さが自慢で、1年かけて稚えびから育てる南島原市おすすめの逸品です。

毎年、歳暮や年始の贈答品として喜ばれており、全国へ活きたまま届けられます。